

令和3年2月22日

沖縄県議会議長

赤 嶺 昇 殿

派 遣 議 員

(1) 県内派遣議員

団 長 照 屋 守 之
小 渡 良太郎
仲 里 全 孝
新 垣 光 栄
金 城 勉
當 間 盛 夫

(2) 県外派遣議員

団 長 照 屋 守 之
仲 村 家 治

同 行 議 員

赤 嶺 昇
金 城 勉
當 間 盛 夫

「那覇港湾施設（那覇軍港）の早期移設と浦添市西海岸開発計画の早期
実現を求める意見書」及び「同決議」の要請議員団報告書

上記のことについて、別紙のとおり報告します。

別紙

「那覇港湾施設（那覇軍港）の早期移設と浦添市西海岸開発計画の早期実現を求める意見書」及び「同決議」の要請議員団報告書

1 派遣議員

(1) 県内派遣議員

団長	照屋守之
	小渡良太郎
	仲里全孝
	新垣光荣
	金城勉
	當間盛夫

(2) 県外派遣議員

団長	照屋守之
	仲村家治
	赤嶺昇（同行議員）
	金城勉（同行議員）
	當間盛夫（同行議員）

2 派遣目的

令和2年第6回議会（定例会）の10月13日の会議において議決された上記の意見書及び同決議の趣旨を関係要路に要請するため。

3 派遣期間

県内要請 令和2年11月16日（月）、11月25日（水）（2日間）

県外要請 令和2年12月21日（月）～22日（火）（2日間）

4 要請日程

別紙のとおり

5 要請概要

団長が意見書及び同決議の趣旨を説明した後、各団員からは、那覇港湾施設の移設と浦添市西海岸開発計画を一体的かつ速やかに実行すること等につ

いて強く要請した。

6 要請に対する答弁の要旨（要請順）

〈県内要請 令和2年11月16日（月）、11月25日（水）〉

○ 那覇港管理組合常勤副管理者 田原武文

那覇軍港の浦添埠頭移設については、現在、構成団体の間で協議を続けているところであり、令和2年度内に民港の形状を取りまとめたい。その実現に向けて関係者含めて連携を図りながら、頑張っていきたい。

（質疑応答）

Q 浦添市の民港の位置が変わらず、浦添市が開発する部分もあるということであれば、もう北側案は3者が合意しているということである。那覇港管理組合は軍港を管理していないため、軍港移設の議論はできないわけだから、早めに民港をどうするか、軍港と並行してどういう形で持っていくかということを決めてほしい。移設協議会の開催について、どうするのか示してほしい。

A 第26回的那覇港湾施設移設に関する協議会で確認されているとおり、民港の形状と整合を図る形で代替施設の位置・配置を描くものと理解している。できるだけ令和2年度に民港の形状、港湾計画の方向性をまとめたいということで構成団体の中で調整をしっかりとやって早めに形状を示したいと考えている。それから移設協議会の開催については、まだ民港の形状の取りまとめが終わっていないため、時期尚早ということで返事をさせていただいている。

○ 沖縄県知事 玉城 徳一

10月に決議が可決されたことは重く受け止めている。平成25年に公表された統合計画によると、那覇港湾施設の機能の浦添埠頭地区へ移設が行われ、返還のための必要な手続の完了後の2028年、またはその後に那覇港湾施設の返還が可能とされており、明らかに少し時間がかかるということは危惧するものである。他方、那覇港湾施設については、県と那覇市の玄関口である那覇港に隣接し、空港にも近く産業振興の要地としても極めて開発効果の高い地域である。基地負担の軽減、そして産業振興という視点から早期の返還が必要である。

牧港補給地区については、西海岸沿いの都市軸の重要な位置にあり、隣接

する海浜部での開発計画、港湾整備計画、それから陸域のキャンプ・キンザーの早期全面返還が待たれていることから一体的なまちづくりを構想していると考えている。

那覇港湾施設の移設について、那覇港管理組合においては、浦添埠頭地区における民港の港湾計画の方向性を導き出した後に移設協議会において協議が行われると承知している。かねて議会でもそのような答弁が那覇港管理組合議会、県議会でも行われている。

県としては、現在この那覇港管理組合に設置されている浦添ふ頭地区調整検討会議において、県、那覇市、浦添市、この母体の産業戦略や那覇港における需要の分析を踏まえつつ、浦添埠頭地区における民港の形状案の検討を進めているところであり、まず民港の港湾計画の方向性を導き出すということを優先させている。当然、浦添ふ頭地区調整検討会議においてもしっかりと議論を行う必要があり、県としては、那覇市、浦添市とも連携を取りながらしっかりと取組をサポートしていきたい。

(要望及び質疑応答)

- 決議文にあるように1974年の返還合意から46年、様々な過程を経て那覇市、浦添市が北側案でまとまっている。那覇軍港は那覇の表玄関であり、さらに浦添市のキャンプ・キンザーの返還も控えていて、そこも一体となって開発・発展させていくと示されている。ぜひ那覇港管理組合でも議論を加速していただいて、早期に那覇軍港移設が実現できるよう要望する。

- せんだっての議会で知事公室長含めて時期尚早という話があったが、理解できない。現行計画で変わらない方向であるはずなのに、民港が先だということでは整合性が取れないと思っている。3者が合意していることであれば、速やかに移設協議会を開催し、北側で確定であることを決定していただきたい。

- Q 組合は3団体の一部事務組合として機能しているが、浦添市、那覇市との協議が雑になって、組合が先行するような形、あるいは考え方についてもばらつきがある。こういうところが非常に気になっている。そこはきちんと知事がリーダーシップを発揮して、一つの方向性というものを速やかにまとめてやっていかないといけない。その辺の認識はどうか。
- A おっしゃるとおり、県含めて3母体の構成団体の間でしっかりと意見交換をして、当該部局でも那覇港管理組合とそごがないように努めるということで、

今般そのような指示もしている。そこは丁寧にしっかりとやっていくべきだと思う。

〈県外要請 令和2年12月22日（火）〉

○ 外務大臣 茂木敏充

外務大臣不在のため、鈴木隼人外務政務官へ手交した。

（議員団発言概要）

去る10月13日の県議会で意見書を議決して、その県議団代表5名で要請に来た。返還合意が決まってから46年が経過している。現在那覇港管理組合で、その位置も含めて対応しているが、今決定しても十四、五年かかる。沖縄県の基地の整理縮小、そして跡利用計画、那覇軍港は那覇のど真ん中にあるので、これは一刻も早く何とかしないとイケない。移設先の浦添市もキャンプ・キンザーの返還等々も含めて跡利用計画をしっかりと進めないといけないという状況にある。ぜひ御理解と早期の整備に向けてお力添えをいただきたい。

（外務政務官 鈴木隼人）

那覇市にとっても浦添市にとっても、とてもいい話だと思う。なるべく早く実現したいという地元の思いをまず受け止めたい。また、県民の皆さんの御意思であるということがよく感じられた。そういうことで、関係省庁と連携しながらやっていきたい。

○ 沖縄及び北方対策担当大臣 河野太郎

北側案で自治体の皆さんが合意したと聞いている。牧港と海岸線開発等、次の沖縄振興に非常に大きな影響があるところだと思う。我々としては、決まったものを速やかに実現できるようにしたいし、国の予算もしっかり手当てをしていきたい。後は協議会を開いて正式に決めていただければ、防衛省のほうで軍港の線を引くということになる。民港は民港のほうで図面を引いていただければ、後は防波堤を造っていくことになるので、スピード感を持ってぜひやっていただきたいと思う。

キャンプ・キンザーについては、地元でいろいろな意見交換会を始めていると聞いているので、こちらは割とスムーズに行くのではないかと期待しているところである。これだけの土地が戻ってくることになるので、有効活用して、沖縄経済の振興につなげていただきたい。さらに、世界から注目されるようなことをぜひやっていただきたいと期待している。

内閣府として、また沖縄担当大臣として私も実際に現場を見させていただいたので、バックアップできるところはしっかりやってまいりたい。

(議員団発言概要)

復帰後、返還合意がされて、46年もそのままになっており、今年8月に浦添市長が従来の北側案でいいということで県知事、那覇市と3者で会談し、その方向でようやく前に進むのかという中、今那覇港管理組合が民港計画で意識調査なるものが突如出てきて混乱している。

今回、那覇港管理組合議会、そして浦添市、那覇市、県議会の4つの議会が同じような趣旨で意見書を議決しているので、民港はもちろん、跡地利用も含めてぜひとも後押しをお願いしたい。

○ 防衛大臣 岸 信 夫

移設協議会の場で、しっかり国も参加する形で地元の皆さんと県と進めて、議論を深めていくということが何より肝腎なんだろうと思う。また、協議会において、那覇港湾施設の代替施設を北側に位置づけるということを確認したいと考えている。沖縄防衛局から開催の打診に対して、那覇市、浦添市からは早期開催をするという回答をいただいているが、現時点においては、詳細がまだ決まっていないということである。いずれにしても、地元の御意向を踏まえつつ、しかるべき時期に開催できるよう調整を進めてまいりたい。

(議員団発言概要)

きれいな海だが港湾は物流の拠点なので、沖縄の経済をさらに動かすためにはどうしても民港計画、浦添埠頭西海岸をやらないといけない。環境に配慮したやり方ということなので、移設協議会を早めに開催してほしいと県議会からも県知事に申し上げている。我々もしっかりと後押しするので、よろしくをお願いしたい。

○ 国土交通大臣 赤 羽 一 嘉

私どもは、軍港の技術的なアドバイス、港湾技術のところでしっかりやっていくし、民港のほうはうちがしっかりと主体となってやっていく。この件はよく分かったので、しっかりとバックアップしたい。

(議員団発言概要)

この事業は1974年に日米合意がされていたが、46年間も事業が進まない

ということで県民は首を長くしている。今年の8月に3者が合意したことで、ようやく進むかなというところで、知事がぶれているから、またここで滞るのかと大変懸念を持っている。できるだけ早く国も入った形での移設協議会を開いて、そこを後押ししていただきたい。

○ 内閣総理大臣 菅 義 偉

総理大臣不在のため、大沢博内閣審議官に手交した。

(内閣審議官 大 沢 博)

私もこの前、官房長官と一緒に出張に同行して、那覇港湾施設や浦添市西海岸を視察した。パルコの上からは陸側のキンザーもよく見えた。本日の話はしっかり伝えるので、よろしくお願ひしたい。

(議員団発言概要)

今回、浦添市長は北側案を受け入れたので、本来であれば県知事、那覇市長、那覇港管理組合も何の問題もないはずだ。沖縄県の経済にとって、那覇市、浦添市というのは、大変ポテンシャルの高いところなので、那覇軍港の浦添移設については、民港も含めて並行して、県民にしっかり示せるようにやっていきたいと思っている。ぜひとも力強く応援していただければありがたい。

以上

別紙

要 請 日 程

月 日	曜日	時間	要 請 先 等	場 所
令和2年 11月16日	月	13:30 } 13:40	那覇港管理組合常勤副管理者 田 原 武 文	那覇港管理 組合大会議 室
令和2年 11月25日	水	14:00 } 14:10	沖縄県知事 玉 城 デ ニ ー	知事第1応 接室
令和2年 12月22日	火	10:00 } 10:15	外務大臣 茂 木 敏 充 (外務大臣不在のため、鈴木隼人外務政 務官へ手交)	政務官室
		11:15 } 11:30	沖縄及び北方対策担当大臣 河 野 太 郎	大臣室
		14:10 } 14:25	防衛大臣 岸 信 夫	大臣室
		14:30 } 14:45	国土交通大臣 赤 羽 一 嘉	大臣室
		15:00 } 15:15	内閣総理大臣 菅 義 偉 (総理大臣不在のため、大沢博内閣審議 官に手交)	内閣府5階 519室